

用語解説

原生林

ほとんど人間の影響を受けていない林。

自然林

多少、低木や草本の伐採など人間の影響を受けているが良好な状態で保たれている林。

代償植生

人間の影響によって、立地本来の極相植生が様々な人為植生に置き換わったもの。それが林の場合は二次林ともいう。

天然林

人工林に対する対語で、人工林以外の全ての森林を指す。

極相

植物群落は、周囲の環境と相互作用しながら遷移していくが、最終段階では群落と環境の間で一種の動的平衡状態が成立し、群落は安定して組成や構造が変化しない状態。

遷移

ある生物共同体が他の生物共同体に移り変わる過程。

潜在自然植生

人間の影響を停止したとき、その立地に生じると判定される植生。理論的な植生。

出典

生態学事典．沼田真編．1974．築地書館．

自然保護ハンドブック．沼田真編．1998．朝倉書店．